

グランプリに(株)ユピテル「SN-TW80 d /DRY-TW9100d/ DRY-TW8500d/ DRY-TW7500d」

西脇保彦 JAAMA 前理事長に特別賞

第 32 回「日刊自動車新聞 用品大賞 2019」表彰式を開催



「日刊自動車新聞 用品大賞 2019」の表彰式が 7 月 5 日（金）、都内のホテルで開催されました。

1987 年にスタートした「用品大賞」は、自動車用品の販売促進と業界発展に寄与することを目的に開催され、今年で 32 回目を迎えました。今回はグランプリ、準グランプリのほか、16 部門とロングセラー部門、特別賞の合計 28 社（人）が表彰されました。

今回は JAAMA 会員である(株)ユピテルのドライブレコーダー「SN-TW80 d /DRY-TW9100d/ DRY-TW8500d/ DRY-TW7500d」が見事グランプリに輝いたほか、西脇保彦 JAAMA 前理事長（ボンフォーム代表取締役会長）が長年の功勞に対し、特別賞を受賞するなど、JAAMA 会員 9 社、1 名が表彰されました。

以下、用品大賞 2019 を受賞した JAAMA 会員の商品一覧です。

☆用品大賞 2019 グランプリ

■(株)ユピテル「SN-TW80 d/DRY-TW9100d/ DRY-TW8500d/ DRY-TW7500d」

前後 2 カメラ、高画質、良好な視界を確保するなど、ドライブレコーダーに求められる機能を搭載する。ディーラー、カー用品店、部品商向けと販売チャンネルごとにニーズを分析、要望に沿った製品開発を行った。



☆ドライブレコーダー部門

■(株)コムテック「ZDR026」

GPS 搭載、370 万画素を採用した前後 2 カメラ高性能ドライブレコーダー。夜間でもノイズの少ない鮮明で美しい映像を録画できる。



☆ドライブレコーダー部門

■(株)カーメイト「ダクション 360 S DC5000」

360度レンズを2つ搭載する全天球モデルのドライブアクションレコーダー。前方のみ高解像度で録画を行う「デュアルレック」機能を備え、ナンバープレートの視認性を高めた。



☆安全サポート部門

■(株)オートボックスセブン「ペダルの見張り番Ⅱ」(販売、製造はデータシステム)

アクセルとブレーキの踏み違いによる事故を回避する急発進防止装置。「ペダルの見張り番Ⅱ」ではアクセルを踏みたい場合に機能をキャンセルすることができるなど利便性を向上させた。



☆車内快適部門

■(株)カシムラ「ワイヤレス充電器 自動開閉ホルダー KW-7」

iPhone、スマートフォン (qi 対応) を置くだけでワイヤレス充電ができる。近接センサー・電動モーターを内蔵し、アームが自動的に開閉・ホールドする。



☆オイル・添加剤部門

(株)ジョイフル「ENERGY LUBE」(イエローハット子会社)

「SHIELD」「RECOVERY」「STANDARD」の3種類で構成するエンジンオイルのシリーズ。グループであるカー用品店での販売傾向に基づいて商品開発した。



☆大型車部門

■セルスター工業(株)「CS-31F」

既存のバックカメラを活用し、前後録画を可能とした大型車用ドライブレコーダー。少ない導入コストで前後2カメラを録画できることから運送業者からの引き合いが多い。



☆輸入車部門

■星光産業(株)「AZUTO」

カー用品の楽しみ方を訴求したカップホルダーやスマートフォンホルダー、ドアストレージボックスなどで構成される輸入車向け商品。



☆特別賞

■西脇保彦氏（㈱ボンフォーム代表取締役会長）

カーインテリア大手のボンフォームの社長、会長のほか、全国自動車用品工業会の理事長を8年間務め、製販業者が一丸となって取り組む「洗車の日」の立ち上げにも尽力、アフターマーケットの発展に大きく貢献した。

